



東京日々新聞

九百四十号



武剛秩父郡上野村の農泰平と毒かち家附きの娘多れも名代の満姉あて

秩父結の小夜衣重ね

着るす重もあられど

名事泰平も己が

治るはしと重ね

着の洗濯もせより

と又もや去年の土月の末同村の笠原

流助不持うけ小笠原も竹の子笠の竹あぐら檜

本笠の木ら後菅笠のまけりも断毛汗小綿さうる笠紐の

縁あられ来の木の産む暮せも本意をん我も其生木と裂ト

とて酒二升を結納し壹升中よく暮せよと與

以て追出せり家附き娘あり

と身持ありけき

事急よ及び四方

の姉こん達

はし

給へ

山々亭有人記



山々亭 渡辺彫景

萬齋 芳幾

